

授業改善プラン

地域名	葛南教育事務所	学校名	習志野市立袖ヶ浦東小学校
-----	---------	-----	--------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○平成31年度までの全国学力・学習状況調査の結果を全国平均値と比較してみると、基礎力より活用力が弱く、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」は高いが、「書くこと」が大きく下回っていることがわかった。特に、指定された長さで文章を書いたり、段落の意味を理解して2段落で文章を書いたりする等ができていなかった。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○本校が行ってきた読みの研究を生かしながら、「書くこと」の言語活動を充実させることによって、思考し表現する力を育みたいと考えた。

○文学的な文章に関する教材の読みを基調として、課題について書いたり交流したりして考えを深め、授業の振り返りの在り方を工夫し、「書く力」の向上を図った。

3. 具体的な実践

○『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』に沿ったような取組を行った。

- ・見通しをもたせる単元づくりの工夫
- ・「振り返り」の書き方の工夫
- ・言語に触れる「多読」の環境整備

4. 成果

○『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』の実践に当てはめて単元を作ることで、豊かな読解力や書く力を伸ばす授業を行うことができた。

○単元の特性に合わせた振り返りを書く時間を設定することで、児童が効果的に振り返ることができ、より深い理解を図ることができた。

◆担当指導主事から（葛南教育事務所 指導主事 野崎 真理子）

○「全国学力・学習状況調査」の結果から見いだされた課題を解決するために、『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』を有効に活用し、全校体制で「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を実現させた。

○本校が長年取り組んできた、文学的な文章の「読むこと」の力を基盤として「書く力」を高める学習活動を構築したことが功を奏し、児童の意欲を喚起し、「書く力」を高めた。